

関係者別の成果のハイライト

戦略的な検査室の運用による、資源利用の向上と患者体験の改善

 患者	経験の向上	<p>「医療資源が少なく、代替手段がほとんど存在しない地域では、患者は救急部の収容能力に翻弄されることになります。今回我々が開発したプロセスを用いることで、患者の待機時間が大幅に短縮され、到着から帰宅または入院までの時間が最大4時間短縮されることが確認できました」</p> <p>- Dr. Abdalla Hamed Ibrahim、救急病院マネージャー代理</p>
 臨床医	信頼性の向上	<p>低リスクの患者（救急部を受診する患者全体の49.0%～64.2%）の15.2%強は、不要な一連の臨床検査を受けることなく、安心して自宅に帰ることができました。</p>
 医療制度 / 病院経営	医療資源利用の強化	<p>このプロセスの導入以来、救急部におけるワークフローの処理能力は12%改善し、年間1万人以上の患者を診察できるようになりました（2020/2021年には14,978人、2021/2022年には12,515人）。</p>
	入院の必要な患者数の増加	<p>救急部からの入院者数は、内科へは14%、外科へは19%増加しました。</p>
 医療費	医療費の軽減	<p>戦略的パネルの実施により、検査費用だけでも患者1人あたり平均270エジプトポンド（日本円換算でおよそ1,200円）が削減されました。</p>